

福島宏紀区議の

区政レポート

所において、当該感染者と接触した従事者等を濃厚接触者に加えて行政検査する」として補正予算を計上したと答弁。

福島宏紀区議会議員の代表質問を14日午後傍聴しました。傍聴席は五分の一位に制限縮小されていました。

PCR検査の拡充を求め、質問に、区長から「今般、唾液から行政検査できる医療機関が11カ所になった」と答弁があり、少し安心しました。岩山

9月14日開会した北区議会第3回定例会は10月9日まで開催中です。私、福島宏紀は初日に日本共産党北区議員団の代表質問に立ちましたので質問の概略を報告します。

ように、医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校の職員等を対象にした社会的検査の実施を」と求めました。

さらに、保育園・幼稚園、学校の職員についても、検査を拡充するよう指示した国の通知等をふまえて対応していく。と答えました。

PCR検査の拡充など代表質問を行いました

これに対して花川区長は、東京都が高齢者・障害者施設での職員・入所者のスクリーニング検査経費を支援する方針を打ち出したこと。加えて、

生活保護の積極活用を強く求めました

まず新型コロナウイルス感染症のPCR検査の拡充に関して私は、「すでに千代田区や世田谷区が踏み出している

区としても独自に「介護・障害者サービス事業者の新規入所者や感染者が発生した事業

また、安倍首相から「生活保護はためらわず申請を」の答弁を引き出した国会での田村智子参院議員の質疑を紹介し、制度の積極的活用を強く求めました。

決算特別委員会では暮らし支援策の拡充を
また、5日間にわたって開かれる決算特別委員会等では、いのち・くらし支援等に使える「財政調整基金」183億円を活用し、コロナ禍のもとPCR検査とくらし支援策の抜本的拡充を、代表質問に引きつづき強く求めます。

介護事業所など新規入所者に検査を拡充

今議会で実現・改善された諸制度

●赤ちゃんに10万円

7月28日～来年4月1日生まれの新生児に一人あたり10万円の給付金。

●全児童・生徒に図書カード

全児童・生徒を対象に一人3000円の図書カードを、冬休みの家庭学習支援として支給

●無担保・無保証を延長

コロナ特例貸し付け二制度とも、無担保・無保証が12月末まで延長されました。

★制度の概要は以下の通りです。

収入減の世帯に「緊急小口貸付」

休業等で収入減の世帯に生活維持のために20万円以内を一括貸し付け。無利子・保証人不要です。

生活が困難な方に「生活支援資金」

収入減少や失業等により生活に困窮し生活維持が困難な方に単身世帯月額15万円以内、2人以上世帯20万円以内を原則3カ月以内貸し付け。無利子・保証人不要です。

・申し込み・問い合わせ先はいずれも

北区社会福祉協議会（福祉資金担当）

03-3907-9494(平日8:30～17:15)

不明な点などありましたら、下記までご相談下さい。

☎090-1206-6925 福島